

新しい『美味しさ』『便利さ』『楽しさ』を 支える食流ネットワークカンパニー





「ヨコハマの力2008」会社説明会資料
(横浜からの60年とこれからの挑戦)



2008年 3月16日

横浜冷凍株式会社

(東証一部 証券コード: 2874)

◆ 会社紹介

概要、沿革、経営目標

◆ 事業内容と特長

事業構造、当社の優位性

◆ 業績推移と今期計画

◆ 今後の成長に向けた取組み

◆ 株主還元とCSR

- ◆設立 1948（昭和23）年5月13日
- ◆資本金 11,065百万円
- ◆主な事業内容
 - 冷蔵部門 水産品・畜産品などの冷蔵・冷凍保管物流事業
 - 営業部門 水産品・畜産品などの販売ならびに加工
- ◆事業所 冷蔵倉庫38拠点、食品販売18拠点
（横浜地区5拠点）
- ◆社員数 889人（2007年9月30日現在）
- ◆決算期 9月30日

- ・ 1948 (S23. 5月) 横浜冷凍企業株式会社設立 第一号倉庫完成
- ・ 1953 (S28. 11月) 横浜冷凍株式会社に社名変更
- ・ 1962 (S37. 12月) 東証第二部に上場
- ・ 1989 (H元. 12月) タイヨコレイ株式会社設立 資本金58億円
冷蔵倉庫30万トン
- ・ 1991 (H3. 3月) 東証第一部に指定
- ・ 1997 (H9. 12月) 創立50周年(記念配当) 冷蔵倉庫48万トン
- ・ 2002 (H14. 4月) 東証 『卸売業』 に所属変更 冷蔵倉庫55万トン
- ・ 2006 (H18. 9月) 売上高1,000億円達成 冷蔵倉庫64万トン
- ・ 2007 (H19. 3月) 横浜物流センター完成 冷蔵倉庫66万トン

- 横浜物流センターは2007.3月から稼働。
- 伊勢原物流センターは2005.8月から稼働。



- 横浜物流センター
- 2007年3月稼働
 - 収容能力 約24,400トン
 - 設備投資額 41億円

伊勢原物流センター

- 2005年8月稼働
- 収容能力 約24,300トン
- 設備投資額 48億円



(経営理念)

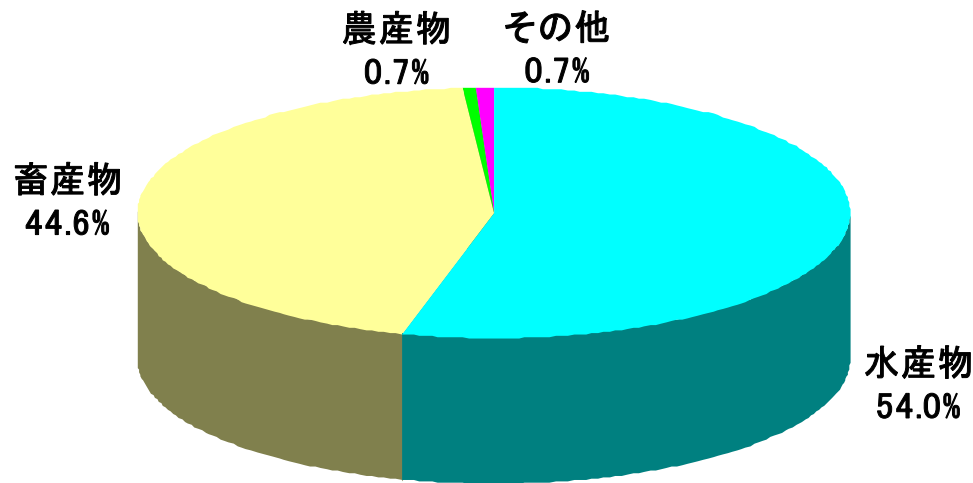
『会社は社会の公器であり、
利益は奉仕の尺度である』

(経営ビジョン)

新しい「美味しさ」
「便利さ」
「楽しさ」を支える
食流ネットワークカンパニー

- 水産物の売上高シェアは54%、畜産物は45%。
- 豚肉は362億円、エビ類は186億円の売上高。

(品目別売上高比率)



(ベスト5品目売上高)

(百万円)

品目	売上高
豚肉	36,255
エビ類	18,578
牛肉	5,525
サバ	5,438
ホタテ	5,117

当社冷蔵倉庫事業の成長性

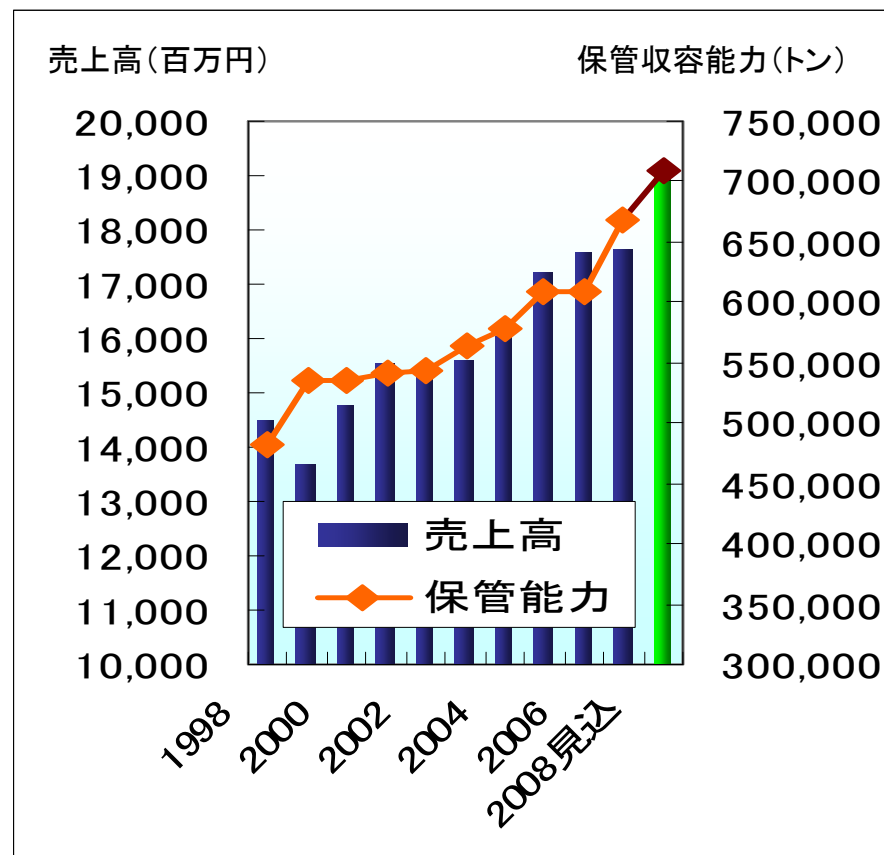
- ユーザーニーズに合わせ設備の拡充を図る。(当社の国内シェア6%)
- 2008年7月、収容能力は70万トン超となる。

(業界上位シェア)

(百万円)

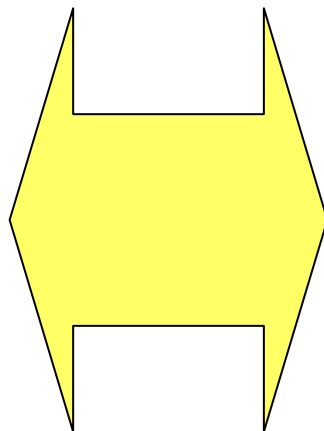
会社名	収容能力 (千トン)	シェア (%)
ニチレイG	1,305	11.8
ヨコレイ	669	6.0
マルハニチロG	597	5.4
東洋水産G	439	4.0
日本水産G	343	3.1
上位20社 計	4,769	43.1
業界合計	11,062	100.0

(売上高と保管収容トン数の推移)



業界の状況

- 老朽化が進む
(55%が築後30年経過)
- 脱フロンガスへの
対応遅れ
- 新たな物流ニーズへの
対応遅れ
- 中小の事業者が全体の
60%以上を占める



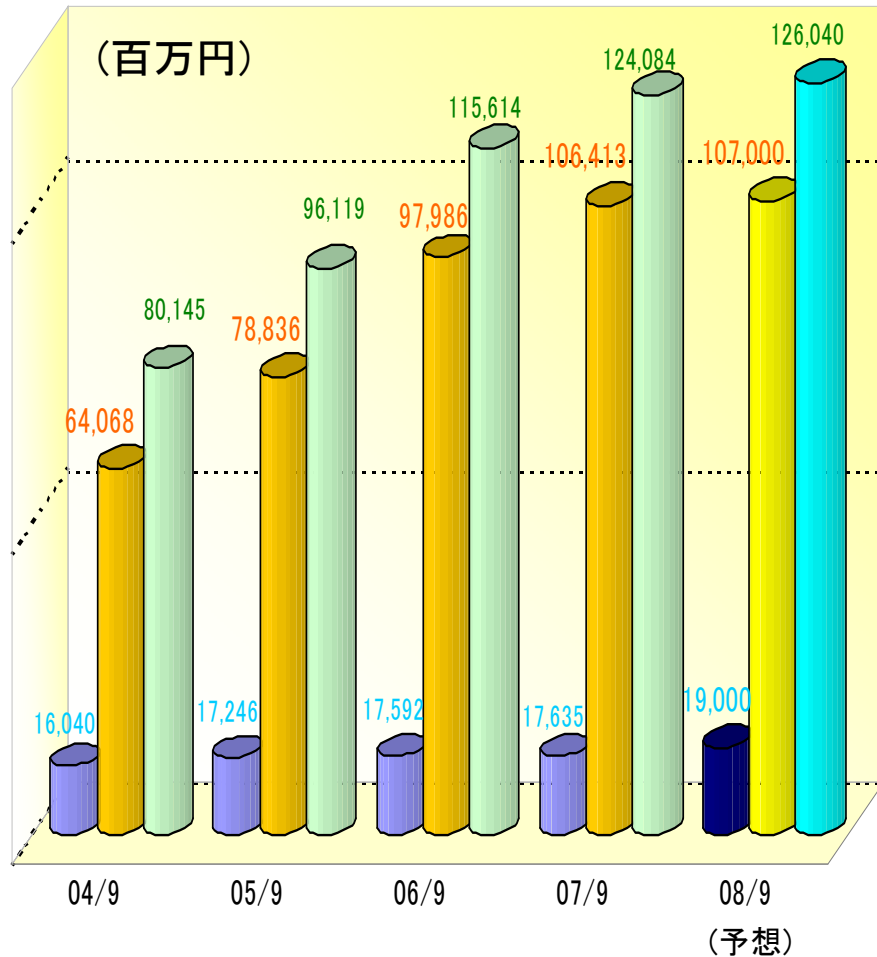
当社の対応

- 築後20年以上、19%
築後10年未満、32%
- 設備の35%が自然冷媒
(アンモニアガス)へ移行
- 多温度帯対応
- トータル物流、コールド
チェーン対策
- 新規需要の開拓

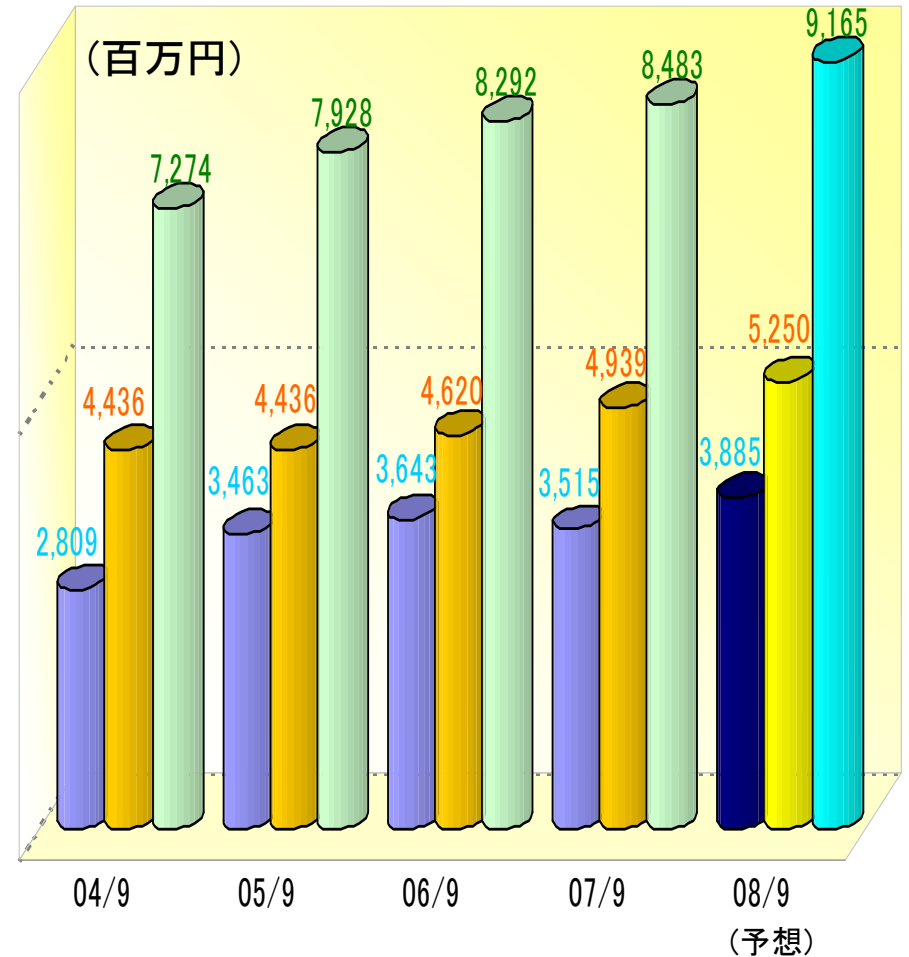
業績推移 と当期予想(売上高・売上総利益額)



■ 冷蔵倉庫事業 ■ 食品販売事業 ■ 売上総高



■ 冷蔵倉庫事業 ■ 食品販売事業 ■ 売上総利益



- 収益力の強化を目指す。
- 減価償却費は、大幅に増加。

(単位: 百万円、%)

	2007年9月期		2008年9月期予想	
	金額	前期比 増減額(率)	金額	前期比 増減額(率)
売上高	124,084	8,470 (7.3%)	126,040	1,956 (1.6%)
営業利益	3,292	▲ 170 (▲4.9%)	3,865	573 (17.4%)
経常利益	3,545	▲ 94 (▲2.6%)	4,000	455 (12.8%)
当期利益	1,956	▲ 51 (▲2.6%)	2,180	224 (11.5%)
設備投資額	6,352	600 (10.4%)	5,154	▲ 1,198 (▲18.9%)
減価償却費	2,515	226 (9.9%)	3,031	516 (20.5%)

- 食品販売事業：利益率アップを重視する。
- 冷蔵倉庫事業：主要拠点への展開は一段落する。

● 食品販売事業

- ☆ NO1商材を作る
- ☆ 商品在庫を活用する
- ☆ 新たな海外取引の開発



利益率の改善を主要目標とする

● 冷蔵倉庫事業

- ☆ 新たな進出ニーズの掘り起こし
- ☆ 安定した収益に基づく堅実な資金調達を目指す
- ☆ 老朽設備の統合も視野に入れる

- 鳥栖第二物流センターは2008.5月から稼働。
- 十勝第二物流センターは2008.7月から稼働。



- 収容能力 約22,000トン
- 九州の中核ポイント
- 設備投資額 29億円

- 収容能力 約20,000トン
- 北海道特産品の保管
- 設備投資額 22億円

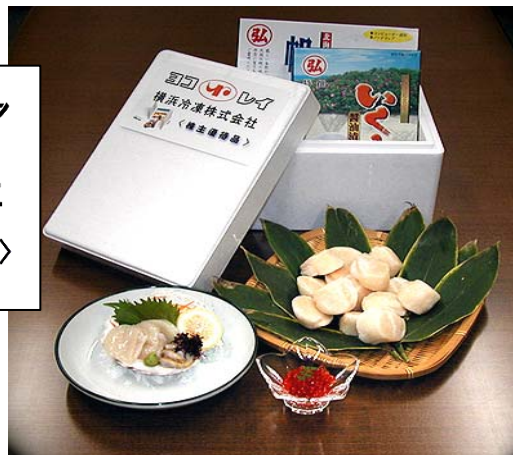


- ◆ 強固な経営基盤の維持
- ◆ 既存事業によるブレのない経営
- ◆ M&Aも含めた成長の検討
- ◆ コンプライアンスの重視
- ◆ 現場主義
- ◆ 人材教育の推進

- 四年連続、年間1円の増配を継続。
- 社会還元も継続。

- 1株当たり配当 20円を目標
- 配当性向 40%台
- 株主優待 継続

- 環境活動への取組み
 - ・自然冷媒の使用
(全社の35%が対応済)
 - ・ソーラーシステムの導入
(3ヶ所への実施完了)
 - ・ハイブリットカーへの更新



- 社会還元活動の継続
 - ・利益の1%を社会還元
(横浜市福祉施設へは昭和48年から35年間継続実施)

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、
将来の数値等に関する記載については、
不確実な要素を含んだもののご理解下さい。

お問い合わせ先

広報・IR室 室長

島居 寛

TEL :045-326-1010

E-mail :Yutaka.Shimazui@yokorei.co.jp

URL :<http://www.yokorei.co.jp/>